

関西学生選手権水泳競技大会

躍動も……悔しさ残った関西選手権

関西学生選手権水泳競技大会 7月26日から28日にかけてなみはやドーム（大阪府）にて行われた関西学生選手権水泳競技大会（以下、関カレ）福田（スボ4）が女子1部

2位とは1秒以上の差をつけてフィニッシュ。王者の力を見せた。この結果にも福田は満足していない。関西学生新記録を叩き出したのは、2年前の事だ。その記録を塗り替えることを目標にしていた彼女。10年くらい誰にも切られない記録を出

また、同じく最終学年となる杉野スボ4も、手ごたえをつかんでいた。専門種目である女子200mバタフライで準優勝し、自信を取り戻している。春先に行われたジャパンオープンで杉野は不調に陥り、まさかの失速で決勝進出を逃してしまっ

圧巻の2種目 制覇も通過点

この4年間、誰も福田を抜くことは出来なかった。100m、200m平泳ぎの関西学生記録保持者の彼女らは、今年も1本目から順調な滑り出しだった。今大会、福田の初戦となった

女子100m平泳ぎの予選では、無敵で行った結果、1分9秒をマークした。決勝では、8秒を目標としていて、焦りすぎてしまったタイムを10秒台に落としてしまったが、それでも

白熱の先輩 後輩対決！ 大会第2日目、同志社から、3人が決勝に進出した男子200m自由形。中でも、西川（商2）と加藤（商1）の、先輩後輩対決。火花散らす熱い戦いとなった。2人の勝負になることは分かっていた（西川）。その言葉通り、序盤から中央を泳ぐ西川、加藤両者が体半分のリードを奪い、飛び抜けた。完全に、優勝はどちらかの争いになった。均衡を保ったまま迎えたラスト50m、トップを泳ぐのは先輩の西川。だが、ここで2番手に付けていた後輩、



女子100m平泳ぎでは前川(商2・左)が2着でワンツーフイニッシュとなった



大きなフォームで前進する杉野

加藤がラストスパートをかける。大きな飛沫を上げ、加速する両者。白熱の接戦を制したのは、加藤だった。その差、0.1秒。タッチの瞬間、会場からもざわめきが起きた。ほとんどの手に汗握る接戦だった。 「上手いレース展開で、序盤から中央を泳ぐ西川、加藤両者が体半分のリードを奪い、飛び抜けた。完全に、優勝はどちらかの争いになった。均衡を保ったまま迎えたラスト50m、トップを泳ぐのは先輩の西川。だが、ここで2番手に付けていた後輩、

惜敗の準V…… 男子800mフリーリレー 関カレ最終日の最終種目に行われる800mフリーリレー。学生大会のこの種目は、やはり今年も大いなる熱気に包まれての開催となった。特に男子は、大会最後の種目、大会最後ともあり、応援もより一層力が入る。 進化の跡は確実に見えていた。関西チャンピオンシップ大会での優勝、関西学生夏季公認記録会での新記録樹立。勢いに乗っていた。 トップバッターとして西川の西村は6位につけて、第2泳者の西川（商2）へタスキをつなぐ。 西川は今大会、専門種目で優勝にあと一歩届かなかった。だからこそ、「自分が引く張りたい」とこのリレーに挑む。みるみる内に順位を上げ、トップを駆け抜けた。 トップとは2秒差。だが、すぐ後ろに3位につけている関学が迫っている。第3泳者の加藤は、「優勝したい」。その思いが、泳ぎを加



来年こそは表彰台のセンターへ(左から西川・加藤・西村・大橋)

本年度のDUS スタッフより!!



監督 樋口 浩三

4月から12名の新入生を迎え、マネージャーも5名加わり、久々に大人数のチームになりました。関西インカレでは男子は習組みは十分に力を発揮してくれたと思います。しかし、男子の学校練習組みは全くと言っていいほど結果が出せませんでした。プールも温化となり、専任のコーチも就けてこの結果は本当に申し訳ないところではあります。が、全日本インカレでは4回生を中心に得点を重ねた総合10位となりました。男子は関西インカレで総合4位となり、全日本インカレでは総合21位でした。全く目標には届きませんでした。

就任3年目となる今年は、新入生が11人入部し、真価が問われるシーズンでした。しかし、結果としては昨年と同じ順位で、男子は関西インカレで総合4位、女子は5位。インカレ女子10位、男子21位と昨年を上回る事ができました。 反省点は、今年に限っての課題でありましたが、この3年間を通して新入生のベスト更新率が低かった事にあります。今年も同じような状態になったことが大きな問題となりました。 今年のチームはリレーの活躍が、そのまますたの重要な戦力であったため1回生を低減させてしまったことは今年チームが例年に



コーチ 山本 晴基

内容となっております。日本でのトップを目指すチームとしてトップチーム以上の練習をすることをコーチも選手も意識し頑張っています。 来年は創部90周年を迎えます。チームの目標としてしま

活躍しました。来年に向けても非常に楽しみな存在です。 トレーニング内容については今出川キャンパスに通う選手が全体の半分まで増え、全体のトレーニング時間、回数、場所を確保する事も考えて見直しを行いました。 私自身もトレーニングの基礎に戻り、この冬はしっかりと泳ぎ込み、練習量にこだわりました。ハードなトレーニングを継続していく方針で進めています。 内容も応用ではなく基本にこだわること、選手が重要視しています。 2014年シーズンは就任4年目、4回生は私が

昭和 21年度卒 岩崎四朗先輩、昭和33年度卒 谷貫太郎先輩がお亡くなりになりました。心よりご冥福をお祈り申し上げます。

平成25年 卒業生追いつけコンパ&新入生歓迎会では、岩崎先輩に乾杯の挨拶をしていただきました。

同志社大学体育会水泳部 幹部交代のお知らせ

平素是水泳部OB・OGの皆様には、日々多大なご協力とご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨シーズンの結果は、関西インカレでは一部において男子4位、女子5位、全日本インカレでは男子21位、女子10位でした。

昨シーズンの日程もすべて終了し、全日本インカレ最終日9月8日をもって幹部交代いたしました。つきましてはここに報告させていただきます。

主将 大橋 雅史 政策学部3回生

副主将 富井 洸一 商学部3回生

主務 福島 拓朗 スポーツ健康科学部2回生

安島 健人 スポーツ健康科学部3回生

副主将という立場になる責任感をしっかりと持ち、主将だからとひとすべからず主将のふしがない事、他のチームよりも上のレベルの事をすることによって必ず結果は出ます。そして、全員の力を最大限に引き出すことが、チーム全体の目標です。

昨年に引き続き主務を務めさせていただきます。チームが目標を達成する為のチームの基盤となり、必要不可欠な存在と言われているように主務を務めます。

DUS一丸となって2014年のシーズンを頑張りたいと思います。応援よろしくお願いします。

主務 福島 拓朗 スポーツ健康科学部2回生

主将 大橋 雅史 政策学部3回生